



消えた水辺の暮らしシンポジウム

桂川・宇治川流域をたどる

～ こわい川、楽しい川を語ります ～

伏見区は昨年の台風18号の時に色々な場所で水害にみまわれました。でも、実は洪水を起こすような「こわい川」と上手に付き合う暮らしや、水辺を使った「楽しい暮らし」が伝承されてきた場所でもあるのです。

そこで、今回のシンポジウムでは伏見の水や川に関わる方々に集まっていただき、さまざまな経験や思いを語っていただきます。また、その記憶や体験を、いかに記録に変えていくか、いかに次の世代に伝えていくか、そのために博物館や資料館はどんな役割を期待されるかを考えます。

日時：平成26年**2月16日**（日）13:30～16:30 開場13:00 展示品解説16:00～16:30

※古写真展示期間 2月16日（日）～2月25日（火）17:00 1階ロビー（区民交流スペース）

会場：伏見区総合庁舎 1階ホール（住所は下記青少年活動センターと同じです）

内容：①現地見学報告 平成25年台風18号水害

～歩いてみて気が付いた・わがまち伏見の水の流れと水害～

②シンポジウム

- ・こわい川ってなんや 私たちの体験
- ・楽しい川が好きやってん 川やみぞは遊び場やった、わし、よう、川で泳いでなー
- ・土地の記憶や人の体験を残すという事

淀川資料館ってこないな事してます

伏見まるごと博物館ってなんだ？

パネリスト（淀川資料館職員と昭和の川ガキたち）

- ・小山富央さん NPO法人伏見板橋よいまちづくり理事長、小山醸造株式会社代表取締役
- ・小川静夫さん 京都市久我のもり図書館館長
- ・松田淳吾さん 淀川河川事務所淀川資料館担当
- ・まだまだほかにも川ガキ登場！？

※コーディネーター 柳沼宣裕さん 伏見まるごと博物館、淀川スイポーズ

定員：80名（先着順受付）

料金：無料

主催：伏見まるごと博物館2013（事務局：京都市伏見青少年活動センター）



《申込み・お問合せ先》

京都市伏見青少年活動センター「消えた水辺の暮らしシンポジウム」係

〒612-8062 京都市伏見区鷹匠町39-2 伏見区総合庁舎4F

TEL: 075-611-4910 FAX: 075-604-4910

<交通> 市バス … 肥後町下車 徒歩5分

京阪本線・近鉄京都線 … 丹波橋駅または伏見桃山駅下車 徒歩8分



伏見まるごと博物館は伏見に眠っている歴史、自然、文化、産業などの豊かなお宝や遺産を、そこに暮らす人々と共に探究・保存・公開し、まち全体を楽しい博物館にします。